

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解
科目コード:130011

人間病態学演習 I Human Pathology Practicum I

担当教員	今井 美和				
実務経験	病院勤務経験のある教員が担当している。				
開講年次	1年次後期	単位数	1	授業形態	演習
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	病理、病因、微生物、感染症、免疫、炎症				
学習目的・目標	目的:感染症、免疫疾患、炎症性疾患の病態を形態観察を通して理解する。 目標:病理学および微生物学の専門用語を用いて、これらの病態を説明できる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	オリエンテーション 病因: 紫外線、放射線、タバコ、アルコールにより引き起こされる疾患				
2-10	微生物学各論: 細菌感染症 ウイルス感染症 プリオン病 真菌症 原虫症				
11-15	免疫疾患: アレルギー、移植免疫、自己免疫、免疫不全 炎症性疾患: 呼吸器系、消化器系など				
教科書	人間病態学(病気の成り立ち) PDFファイル 人間病態学演習 I PDFファイル ステップアップ病理学ノート(サイオ出版) ステップアップ微生物学ノート 第2版(サイオ出版)				
参考図書等	ルービン カラー基本病理学(西村書店) カラーで学べる病理学(ヌーヴェルヒロカワ) ビジュアル微生物学(ヌーヴェルヒロカワ)				
評価指標	定期試験の受験資格:履修登録をしている。授業回数の2/3以上出席している。 定期試験の結果 70% + レポート および 受講態度等 30%で評価する。				
関連科目	解剖生理学、代謝と栄養、人間病態学(病気の成り立ち)、人間病態学演習II、疾病障害論、薬理学、公衆衛生学				
教員から学生へのメッセージ	解剖生理学、代謝と栄養、人間病態学(病気の成り立ち)で学んだ基礎知識を身につけたうえで、授業に出席してください。 授業の予習、復習を行い、確実に知識を身につけて下さい。				